

首記につきまして、皆様の善意の品を下記の通り持参致しましたのでご報告申し上げます。

記

1. 日程	平成 23 年4月8日(金)~10日(日)	
2. 実施	危機管理教育研究所(NPO 国境なき技師団、WASEND、葛飾区綾瀬中学校教員、防災ネットワークプラン代表、株式会社ワイエンジニアリング、株式会社クニザキ様他との連携・ご支援にて実施)	
3. 行程	今回の搬送2tトラックを手配しました。その他ワンボックスカー2台で人と物資を運搬。 活動の効率性を高めるためAチームとBチームに分かれて行動しました。(Aチームの報告は別紙参照)	
	<p>心のケア班</p> <p>■往路</p> <p>●4月8日</p> <p>22:30 危機管理教育研究所 発</p> <p>●4月9日</p> <p>00:30 上河内 SA 着</p> <p>04:00 長者原 SA 着</p> <p>07:30 大船渡市福祉の里 着 職員への食事提供</p> <p>08:10 大船渡市役所 着</p> <p>08:45 トラック到着</p> <p>09:00 大船渡市役所職員と今後の活動の打ち合わせ</p> <p>10:40 立根小学校 着 物資の荷卸し</p> <p>12:00 米崎小学校 着 物資の荷卸しおよび心のケア活動</p> <p>18:15 福祉の里センター ⇒入浴</p> <p>20:30 下富岡公民館 ⇒活動ミーティング (宿泊)</p> <p>●4月10日</p> <p>08:30 大船渡市福祉の里 体育館 見学</p> <p>09:10 大船渡市消防署 訪問</p> <p>10:15 陸前高田市モビリアキャンプ場 心のケア活動開始 ⇒心のケア班と避難所調査班の合流後慈恩寺にて心のケア活動に出発</p> <p>12:30 慈恩寺 心のケア活動開始</p> <p>■復路</p> <p>14:10 慈恩寺 発</p> <p>16:50 長者原 SA 着</p> <p>20:00 上河内 SA 着</p> <p>22:50 新宿 および 千葉 ⇒解散</p>	
4. 訪問先	<p>① 福祉の里</p> <p>② 大船渡市役所</p> <p>③ 立根小学校(大船渡)</p> <p>④ 米崎小学校(陸前高田)</p> <p>⑤ 福祉の里 体育館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各避難所に救援物資を提供 ・ 避難所にたまった支援物資を物資が不足する避難所に搬送 ・ 今後のサポートについての打ち合わせ ・ 学習指導 ・ 被災者への心のケア活動

	⑥ 大船渡市消防署 ⑦ モビリアキャンプ場 ⑧ 慈恩寺	(天皇陛下から被災者の皆さんへのメッセージや全国から被災者の皆さんへのメッセージの上映。子どもたちへビデオの上映。アカペラ(ふるさと)、マッサージ(ハンドマッサージ、肩もみ、全身マッサージ)
5. 支援品	○Bチームが運搬し提供した支援物資○ ランドセル(230)、保湿クリーム・乳液(500以上)、お弁当箱(50)、水筒(30)、コップ(100、文具<<ノート、鉛筆、ペン類、筆箱、消しゴム、定規等)、本、おもちゃ(トランプ、ぬいぐるみ、ボール類、縄跳び、おままごと)≫衣類、下着、靴下、防寒具、生理用品、衛生用品<<石鹸、化粧品、歯ブラシ等>>、タオル(671)、トイレトーパー(90)等	
6. 概況	①福祉の里	◆今回の活動◆ ◇支援物資に関して◇ 職員の方へお弁当の提供 不要物資の引き取り(おんぶ紐ダンボール一箱、おしりふきダンボール2箱)
	②大船渡市役所	◆現状◆ ◇支援物資について◇ 今回の運搬してきた物資は、大船渡市役所では必要としていなかった。 立根小学校が一部の支援物資が不足しているとの情報を得た。 ◆今回の活動◆ ◇支援物資について◇ 支援物資の提供はせず、支援物資が不足している避難所の情報を得た。 また、いま大船渡市役所が必要としている支援物資を伺った。 必要としている支援物資は以下の通り 単一電池、漂白剤、柔軟剤、ざる、バケツ、洗面器、ろうそく、着火マン、ランタン、洗濯バサミ、洗濯ロープ、大工用具 ◇今後の活動についての打ち合わせ◇ 心のケア及び今後の支援プロジェクトとしていくつか企画案が出ている。 その打ち合わせを行った。 支援プロジェクト企画は以下の通り ・NPO 愛知ネットとの心のケア活動 ・お財布プロジェクト ・子供の居場所プロジェクト
	③立根小学校 (大船渡市)	◆現状◆ ◇支援物資について◇ 仕分けをする人がいて、ダンボールを開け仕分けをしていた。 支援物資が不足しているという情報であったが、体育館内には支援物資が数多く保管されていた。 ◆今回の活動◆ ◇支援物資について◇ オムツ、化粧品、マスク、歯ブラシ、コート、ブランケット、大人靴、傘、レインコート、タ

オル 等を提供した。



写真1: トラックから立根小学校に支援物資を降ろす作業。



写真2、3: 全国から様々な支援物資をいただきました。



写真4: 今回提供した支援物資が手前。避難上に保管されている支援物資が奥。

④米崎小学校
(陸前高田市)

◆現状◆

◇避難所生活に関して◇

- ・まだ断水続いている。
- ・避難所には各家庭に背の低い仕切りができていた。
プライベートが完全に確保できていないが、寝ているとき、食事をするときなど家族だけの空間を少しは感じれそうにだ。
- ・校庭に仮設住宅が建設され始めていた。
これから抽選が行われる。米崎小学校に避難しているから仮設住宅に入れるとは限らないようだ。
- ・一部のお年寄りの方々は、カレーやスパゲティー等の高カロリーの脂っこい食材に飽き、魚類などが食べたいという声もあった。
- ・ほかの団体が被災者を励ますダンスを披露するイベントを実施していた

◇支援物資について◇

- ・一部の支援物資は需要を上回っていた
一部の支援物資が一時的に溜まりすぎることがあるが、米崎小学校に支援物資があるという情報がどこかへ流れると、様々な避難所の人々が取りに来て、なくなってしまうこともあるようだ。
- ・仮設住宅に移住し始めると、共有するのではなく各家庭に様々な日用品が必要になる。今後さらに支援物資が必要になるのではないかと考えられる。

◆今回の活動◆

◇支援物資に関して◇

保湿クリーム、乳液)、本、文房具、お弁当箱、コップ、水筒、おもちゃ、消耗品《生理用品、トイレトペーパー、子供用おむつ、大人用おむつ》、寝具、衣類、水等を提供した。

◇心のケア活動◇

①リラクゼーションマッサージ

(ハンドマッサージ、全身マッサージ、肩もみ)を行った。

②子どもと遊ぶ



写真5: 米崎小学校へ物資運搬作業



写真6: 米崎小学校 校庭 仮設住宅建設中

⑤福祉の里 体育館

◆現状◆

◇支援物資に関して◇

・もともと避難所として使う予定であったが、体育館も天井の崩落もあり、利用していない。

現在は支援物資の保管場所としている。自由に持ち帰れるようにしている。

館内施設での入浴を終えた人が必要なものを持ち帰るそうだ。

・支援物資はかなり整理されている。

子供用の衣類などはサイズごとに並べている。

◇職員の様子◇

24時間に対応しているためかなり疲れている。

◇支援物資について◇

保管されている支援物資を、小さい避難所(今回はモビリア)に運搬した。

運搬した物資は以下の通り

スパゲッティの麺、トマトソース、グレープフルーツ、お菓子、パン、キャラメルソース、マヨネーズ、レーズン

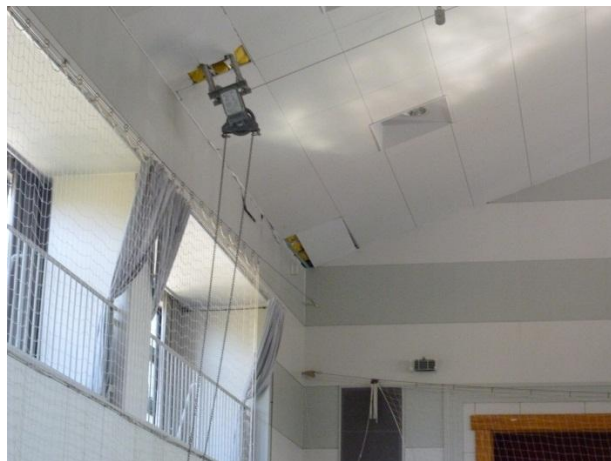


写真7: 天井が崩落している体育館。



写真8: 衣類はサイズごとに仕分けし、選びやすくする工夫までできている



写真9: ダンボールはきちんと仕分けられている。



写真10: モビリアキャンプ場に運搬する支援物資

	<p>⑥大船渡消防団</p>	<p>◆今回の活動◆ 消防署を訪問し、被災当日から変わらない内部の様子を見学した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜のような生ものは一切なく、パンやカップラーメン、缶詰、アルファ米等の保存食のみであった。 ・平常時の勤務体制に戻りつつあるということを受けてそれ以外の食事は各自で調達することとなっている。 ・水門非常発電機がオイル漏れの影響で停電時は使用不可となっていた。 ・期限切れのゴム手袋で使用できないような状態のものが支援物資として届けられていた。
	<p>⑦モビリアキャンプ場</p>	<p>◆現状◆</p> <p>◇避難所生活について◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中は人がいない。家の片付けにいたり、知り合いの家に行ったりしている。四時過ぎに避難所に帰ってくる。 ・電気は移動式発電機によって確保。 ・水道は依然断水。 ・肩こりに悩む避難者が多く、マッサージを行ってくれる団体を要望中。 <p>◇支援物資について◇</p> <p>今後仮設住宅が建設されれば、さらに物資が必要になると考えられる。</p> <p>◆今回の活動◆</p> <p>◇支援物資について◇</p> <p>スパゲッティの麺、トマトソース、グレープフルーツ、お菓子、パン、キャラメルソース、マヨネーズ、レーズンを福祉の里体育館から運んできたものを提供。</p> <p>◇心のケア活動◇</p> <p>①リラクゼーションマッサージ (ハンドマッサージ、全身マッサージ、肩もみ)を行った。</p> <p>②学習指導</p> <p>リラクゼーションマッサージは2週間ぶりだったため、大変喜ばれた。 リラクゼーションマッサージは単発的ではなく継続していく必要があると考える。</p>
	<p>④ 慈恩寺</p>	<p>◆現状◆</p> <p>◇避難所生活について◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日電気が9日にやっと通った。 ・中学生、高校生が多い。小さい子供もいる一方、年齢の高めのお年寄りの方も多い。 ・地震発生後、津波はお寺の目の前まで来た。次の津波で流されないかを心配している。 ・電気がやっと復興したが TV は見られない。携帯がたより。避難してから TV は全く見ていない。 <p>◆今回の活動◆</p> <p>◇心のケア活動◇</p>

		<p>①天皇陛下から被災者の皆さんへのメッセージや全国から被災者の皆さんへのメッセージの上映。</p> <p>②子どもたちへビデオの上映</p> <p>③アカペラ 『ふるさと』</p> <p>④リラクゼーションマッサージ (ハンドマッサージ、全身マッサージ、肩もみ)</p> <p>⇒避難してから、TV 等もみられず、天皇陛下からのメッセージも全国からのメッセージも知らない人が多い。全国からのメッセージに感動なさっている方も大勢いた。故郷も涙を流し口ずさんでくださる方もいた。</p>
--	--	---

以上